

福井県と（公社）福井県観光連盟は、5月29日にホテル阪神（大阪市福島区）において、観光商談会を開催した。

昨年7月に全線開通した舞鶴若狭自動車道や、本年秋に実施する北陸デスティネーションキャンペーンを機に誘客拡大につなげようと、県内から、ホテルや旅館をはじめとした観光施設、市町観光担当者など、45団体71名が参加し、関西地域の旅行会社やメディア29社46名に対し、それぞれの施設の魅力、県内の食・自然・文化・歴史などの積極的な売り込みを行った。

県側から北陸DCのテーマ「ジャパニーズビューティーホクリク～日本の美は北陸にあり。～」に合わせた福井のいち押し観光素材をアピールするとともに、季節ごとの周遊モデルコースを提案。また、ブランド化を進めている三ツ星若狭牛や銘菓を提供し、福井県の食もアピールした。

今後も、旅行会社へのフォローアップを積極的に行い、本県への旅行商品造成を確実なものとするとともに、関西圏での情報発信により、誘客拡大を図っていく。

## <参考>

### ○参加者の声

#### （1）県内関係者の声

- ・メディアで北陸が取り上げられる機会が増えており、福井への関心も高まっていると思う。
- ・新しい観光施設の情報についての関心の高さが見られた。
- ・旅行商品に複数回組み入れてもらえる等、関西の旅行会社との良い関係づくりができるので、今後も同様の商談会があれば参加したい。

#### （2）旅行会社等の声

- ・色々な情報を入手できたので新しい旅行商品の開発に繋げたい。
- ・北陸新幹線の金沢延伸で、メディアで北陸が取り上げられる機会が増えた。今年は北陸DCもあるので、福井の情報も一層発信していきたい。
- ・意外と知らない食や観光地の情報も多かった。新しい情報を仕入れることができてよかった。
- ・バス料金が高くなっていることが手痛い。行政による料金助成は嬉しいし、あると使いやすい。

### <商談会の様子>

